



致遠館SSH通信



新しい価値の創造に向けて挑戦する科学的人材の育成を目指して

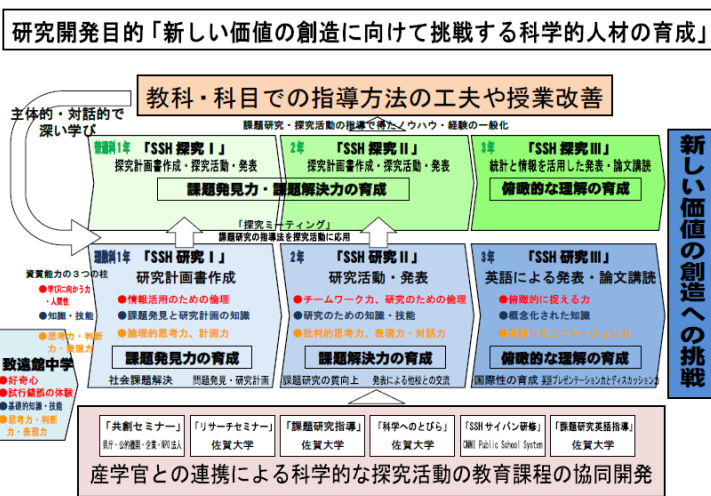
佐賀県立致遠館高等学校
佐賀県立致遠館中学校
先進教育部
令和2年6月22日発行 第1号



新しい価値の創造に向けて挑戦する科学的人材の育成を目指します

文部科学省は、科学技術イノベーション人材の育成や確保のための政策を進めています。その政策のひとつとして、先進的な理数系教育と授業改善を実施する高等学校をSSHに指定して支援しています。本校では、「新しい価値の創造に向けて挑戦する科学的人材の育成」を目指して、指導法等の研究開発に取り組んでいます。主な研究開発の取組は以下の5つです。

- 主な研究開発の取組
- ①新しい価値を創造するために求められる資質・能力を育成するプログラム（課題研究・探究活動等）
 - ②アクティブ・ラーニングの視点に立った学習指導の改善のための教員研修プログラム
 - ③英語コミュニケーション能力と国際感覚を高め、国際性を育成するプログラム
 - ④理数分野についての科学的思考力や表現力を高めるプログラム
 - ⑤課題研究や理数学習に関する他高校生との交流等による我が国の科学技術人材育成への貢献



今年度から、生徒が課題研究や探究活動で行き詰りを感じたとき、そこまでの取組を振り返って、今後の学びに向けた教訓を作り出させる指導法の研究開発に取り組んでいます。具体的には、教科「SSH」のすべての科目及び併設中学校の教科「探究基礎」のルーブリックに、観点「失敗から学ぶ力」を設け、学習活動での行き詰まりを振り返り考える機会を設けています。

		教科「SSH」	
理数科	1年	総合的な探究の時間	科目「SSH研究Ⅰ」1単位
	2年	総合的な探究の時間	科目「SSH研究Ⅱ」3単位
		科目「情報の科学」	科目「SSH情報」2単位
3年	総合的な学習の時間	科目「SSH研究Ⅲ」1単位	
普通科	1年	総合的な探究の時間	科目「SSH探究Ⅰ」1単位
	2年	総合的な探究の時間	科目「SSH探究Ⅱ」1単位
	3年	総合的な学習の時間	科目「SSH探究Ⅲ」1単位

生徒の皆さんが、行き詰まった経験を通して得た教訓を、課題研究や探究活動だけに留まらず、主体的に教科・科目の学習や学校行事、部活動等のいろいろな学びに活用することを期待しています。

観 点	学習到達レベル			
	S	A	B	C
失敗から学ぶ力 *学習活動を通して失敗した経験を裏面に書いてから回答すること。 *失敗したことをもって成績評価を下げることはありません。	課題研究で自分が失敗した事実をもとに原因や理由を書くことができ、再びする場合の具体策や教訓も書くことができる。	課題研究で自分が失敗した事実をもとに原因や理由を書くことができるが、再びする場合の具体策や教訓は書けない。	課題研究で自分が失敗したことを振り返るが、自分を責めるまたは他者を攻撃するように主観的に書いてしまう。	失敗に目を向けることができず、課題研究で自分がどんな失敗をしたかを振り返って書くことができない。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、当初計画から変更または中止せざるを得ない場合が生じることも想定されます。安全な教育活動のためにご理解をお願いします。